

第93回 霧降高原・大山ハイキング

第5支部 東邦化成株式会社 磯部 進
令和元年8月25日(日)曇り後晴

膝の前十字靭帯再建手術から7ヶ月ほど経過し、久しぶりにハイキングに参加した。幹事特権で涼しくて楽なコース設定をした積りだった。

午前9時25分の集合時間前に、東武日光駅に勢揃いしたのは、大井氏、大河原氏、うちの社員の高橋、前々事務局長の山本氏、OBの乾氏、幹事の石井氏、若林氏でした。

日光に向かう電車の中で打上げをスペーシアの車中で行うことを決めていたため、帰りのスペーシアを14時57分発にして、切符も買い込んだ。

9時40分発のバスに乗り込み、一路、霧降高原(1,335m 本日の最高地点)を目指した。35分程で到着。バスを降りるとそこは涼しい高原だった。黒い雲が怪しく近付いていたが、気にせず出発。10時16分、ガラ空きの駐車場端からコースが始まっていた。だらだらと、ほとんど下りのコースはガイドブック通りだった。

途中、二筋の沢を渡り、大山に向けて緩い登りが始まった。登りも快適だ。しかし、なかなか着かない。ようやく、牧柵の間の狭いゲートを抜け、牧草地の登りの先に東屋が見えて来た。そこが大山の頂上だ。11時32分に到着。コースタイムより16分遅い。まだへばってもいないのにこの遅れは何なの？山溪のガイドブックなのにと思いながらも、帰りの電車の時間もあるので、休憩時間を20分として、大休止に入る。時間が無いので、直ぐお茶を沸かす。アルコールも程々に昼食をいただいた。予定より5分オーバーの11時57分に出発した。

下りながら、気が付いた。次のポイント「猫の平」までの40分が抜けていた。大山までの遅れと合わせると56分。「猫の平」到着が12時30分で霧降の滝入口までが当てにならないガイドブックのコースタイムで70分。休憩無しで、ぎりぎりの時間だ。ここからは牧草地を離れ、更にショートカットした方が無難と言うことに纏まり、沢に向かっての足場の悪い下りを急いだ。

12時46分、マツクラ滝の分岐に到着。滝は見ず、次の玉簾の滝を目指す。13時2分、玉簾の滝は遠くから眺めるだけとして、水量の多い沢を丸木橋で渡り、丁子滝へショーカットして一刻も早く自動車道に出ることにした。

13時22分、「隠れ三滝の入口」バス停に到着、直後にバスが来るのが分かり、全員間に合った感で、笑顔がこぼれた。結果、予定より1本早いバスに乗れることができた。

東武日光駅で1本早い、14時23分発のスペーシアに変更した。夫々が着替えたり、荷物番をする一方では買出しに行つて貰ったりした。

14時23分、予定通りスペーシア「リバティけごん32号」は東武日光駅を出発し、我々の宴会も始まった。大山山頂での時間が無かったこともあり、買出しと合わせてアルコールはたっぷりだ。焼き鳥や寿司まで買い込んでいて、車中なのになんかちょっとしたパーティーとなった。

若林氏の希望で三次会に行くことも決まった。3人は北千住で別れ、5人の参加者のみ、東武浅草まで行き、16時34分、神谷バーで「電気ブラン」とチェイサーの生ビールで三次会が始まった。

今回はガイドブックのミスに加えて、計画した自分の不注意に因るコースタイムの見落としが加わり、更に、緩いとは言え、足場の悪い下りも多々あり、本来、リハビリを兼ねての参加が、飛んだトレーニングとなってしまった。また参加者にも忙しいハイキングとなってしまったことを紙面をお借りして、お詫び申し上げます。